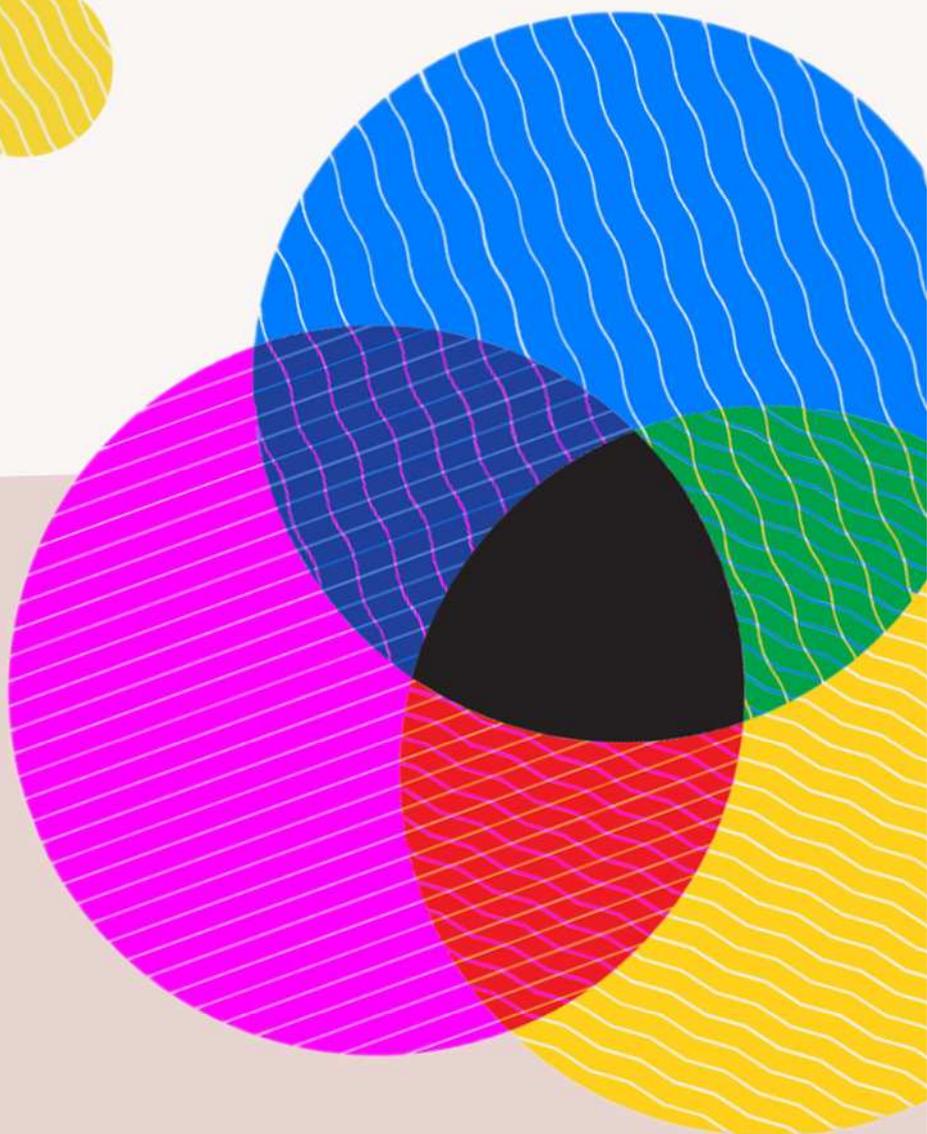


Sustainability Report 2024



サステナビリティレポート2024 発行にあたって

ごあいさつ

2023年度は、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが変更され人々の行動が大きく変化しました。また世界情勢の悪化による食品の値上げやエネルギー価格の上昇などの影響も重なり、私たち消費者のくらしは厳しい状況が続く1年となりました。

そして元日に令和6年能登半島地震が発生し多くのかげがえのない命が失われました。コープ北陸ならびにコープいしかわのお取引先も地震により工場等が被災し、農業・水産業・畜産業にも大きな被害が出ており、復旧・復興まで長い歳月を要すると思われまます。被災された方々のくらし・お取引先の皆様にしっかりと寄り添い、会員生協や日本生協連をはじめとした他事業連合ならびに全国のお取引先、そして役職員と協同し被災者の支援活動に継続的に取り組めます。

そして、2030年ビジョンで掲げた理念「安全・安心して豊かな暮らしと、協同ある地域社会をつくりまます」の実現を目指し第10次中期計画の基本方針である

- ① 組合員のくらしの変化に寄り添い、組合員の願いの実現を通じて満足度の向上。
- ② デジタル技術を積極的に導入し、組合員の利便性と業務効率及び業務品質の向上。
- ③ 会員生協及び全国生協（事業連合）との連携を一層強化し、宅配事業の変革を推進。
- ④ 人事諸制度の見直しや職場環境の整備を通じて人材確保をすすめ、働く職員の満足度とチームワークの向上。
- ⑤ プラスチック使用量・CO2排出量の削減をすすめ、次世代に引き継げる持続可能な社会づくりに貢献。

に取り組んで参ります。

日本生協連をはじめ全国の事業連合、お取引先の皆様の引き続きのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

2024年度は生協の商品の「当たり前価値」と共に「魅力的価値」をお伝えし、もう一度商品力で生協の利用者を増やす一年にしたいと考えています。職員も商品の価値を再発見し発信し、みんな（組合員・お取引先様・職員・すべてのステークホルダー）が喜びしあわせになるよう、役職員一同まい進する所存です。



代表理事 専務理事
中川 敦士

目次

1. エシカルな取り組み	1 P	5. 地球温暖化対策・3Rの推進・人材育成	7 P
2. 食の安全・安心	4 P	6. 人材育成	7 P
3. 組合員の暮らしに寄り添う	5 P	7. 経営管理・機関運営・協同の力で	8 P
4. 宅配注文をより便利に	6 P	8. 協同の力で	8 P

2030年ビジョン

「協同の力で笑顔あふれる未来をつくる」

ありたい姿

- ①誰もが利用しやすい事業への変革を通じて、組合員のくらしに生涯寄り添っていきます。
- ②会員生協と連携し、誰ひとり取り残さない地域社会づくりに貢献していきます。
- ③時代の変化に対応し、スピードをもって経営革新をはかり生産性を高め、組合員の願いを実現します。
- ④チャレンジ精神と思いやりを大切に、チームで成長し続ける組織を目指します。
- ⑤組合員のくらしを出発点に、連帯と協同で総合力を高めていきます。

概要

当事業連合は、会員生協への経営貢献と会員生協組合員の満足度向上を追求することを目的としています。「北陸の力をひとつにして、組合員の安全安心で豊かなくらしと、協同ある地域社会づくりに事業を通して寄与します」を使命とし、北陸の3会員生協（福井県民生活協同組合、生活協同組合コープいしかわ、とやま生活協同組合）とともにその実現をめざしています。

●主な事業の内容

事業種目	主な取り扱い事業品種等
供給事業（卸）	生鮮食品、一般食品、家庭用品、衣料品等を会員生協に供給する事業
物流事業	会員生協を対象とした受発注及び配送に関する業務
システム事業	会員生協を対象としたシステム運用・開発に関する業務

●事業実績

項目	2023年度
会員数	3
出資金額	2億4,000万円
供給高	282億8,601万円
経常剰余金	857万円

●会員生協概要

	組合員人数	出資金高	総事業高
とやま生活協同組合	136,992人	84億2,175万円	172億7,695万円
生活協同組合コープいしかわ	165,784人	71億1,043万円	193億3,450万円
福井県民生活協同組合	169,557人	100億7,401万円	266億2,824万円
3会員生協合計	472,333人	256億619万円	632億3,969万円

第9次中期計画（2021～2023年度）について

2023年度は第9次中期計画の最終年であり、中期計画で掲げた方針並びに重点課題の実現に向けて取り組みをすすめました。

（1）第9次中期計画の基本方針

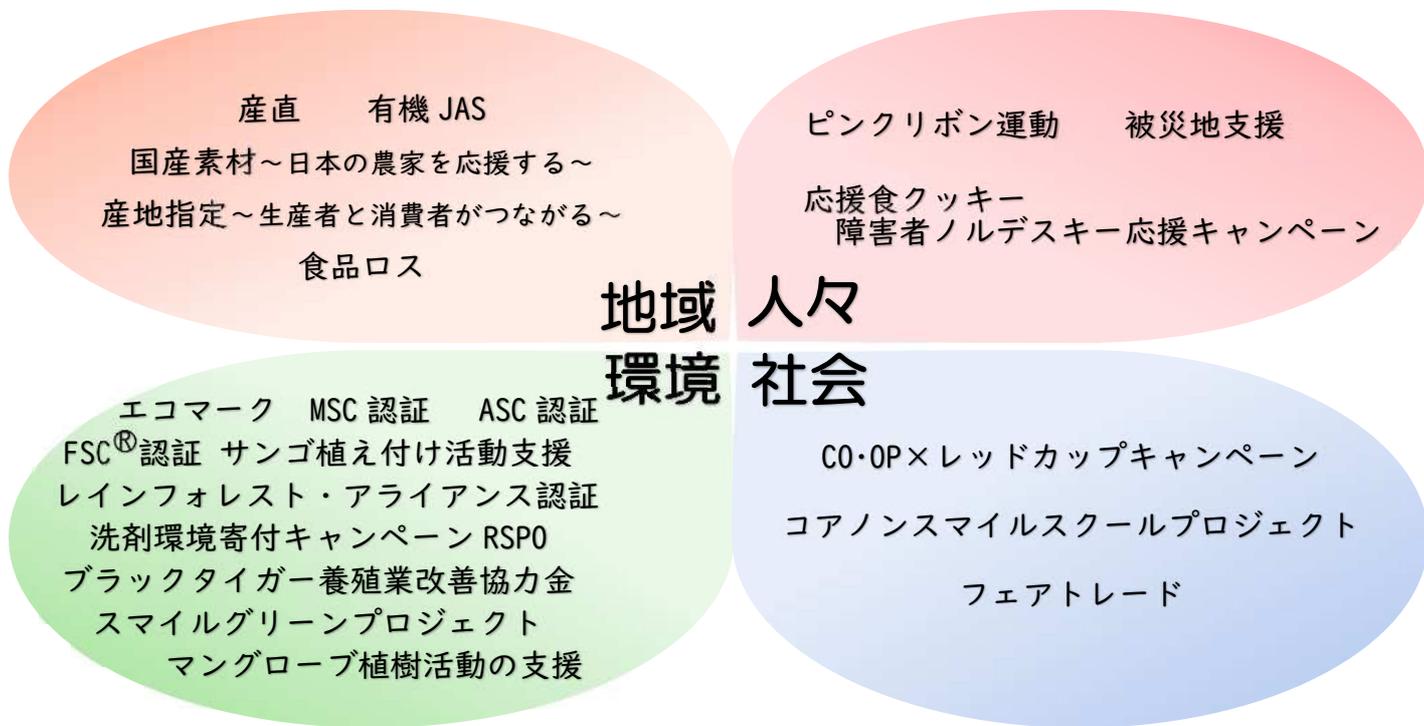
- ①組合員のくらしに寄り添い、利用しやすく分かりやすい仕組みづくりと商品事業改革により、安心して利用できる宅配事業への変革をすすめ、一人当たり利用高（利用点数）の向上を目指します。
- ②富山での新しい生協づくり（とやま生協）を支援するとともに、他事業連合（日本生協連合お）および会員生協との連携を更にすすめ、宅配事業の収益力を高めていきます。
- ③スピードを持ってチャレンジできる組織づくりをすすめるとともに、ICTを活用した業務改革に取り組み、会員生協への経営貢献を果たします。
- ④SDGsを推進し、事業を通じて社会的要請事項の対応をすすめます。

1 エシカルへの取り組み



未来をつくる、
コープ

エシカル消費とは「環境」「社会」「人々」「地域」に配慮してモノやサービスを買うことで、SDGsの17の目標を実現するための重要な手段の一つです。私たち生協は、エシカル消費を環境・社会・人々・地域の4つの視点ですべてすすめています。



産直

2023年度は新たに3産地と産直締結をおこないました。



Forestee



I LOVE ファーム

「地産地消」推進に関する取り組み

地場産品・隣県産品を仕入れることで以下の3つを実現

1. 近在物だからより良い品質
2. 収穫からお届けまで(リードタイム)を短縮
3. 地産地消で“三方よし”の地元貢献

組合員への産地情報提供

組合員が安心してご利用いただけるよう、農産品の情報を紹介しています。



コープ北陸ホームページ
「農産ログ」

サンゴ植え付け活動支援

サンゴ礁の保全により地球環境と生命の源である海を守り育てることを目的として、恩納村漁協、味付もずくメーカーの井ゲタ竹内と協力し、味付もずくの利用代金の一部をサンゴ基金に充て、恩納村漁協が取り組むサンゴ礁再生事業を応援しています。



2023年度のサンゴ基金は、
392,777円となりました。

インドネシア・エビ養殖業改善プロジェクト

日本生協連、WWFジャパン、WWFインドネシアとBOMAR社（ブラックタイガー商品の主なメーカー）の協同による、環境と社会に配慮した責任ある養殖業への転換の取り組みを支援するものです。

対象商品1点の利用で1円がこれらの活動支援へと寄付される取り組みです。

2023年度のブラックタイガー養殖業改善協力金は、250,911円となりました。



コープの洗剤環境寄付キャンペーン

キャンペーン期間:2021年5月21日~2022年5月20日

インドネシアの小規模農家による持続可能なパーム油の生産などを応援する活動に、RSPO 認証を受けた洗たく洗剤の販売による売り上げの一部を寄付しています。

洗剤環境寄付キャンペーンは、対象商品1点の利用につき0.5円をWWFジャパンに寄付しています。寄付金は、持続可能なパーム油の生産などを支援する活動につながります。

2023年度の利用は、89,967円の寄付に相当します。



マングローブ植樹活動の支援

インドネシア・タラカン島の生産者・メーカー、WWF(世界自然保護基金)、タラカン市が協力して取り組んでいる「マングローブ植樹活動」を支援しています。対象商品1点につき1~2円をマングローブの苗の購入や環境保全活動などに活用しています。



2023年度の寄付金額は
25,426円となりました。

CO・OP スマイルグリーンプロジェクト キャンペーン期間:2022年11月1日~2023年10月31日

スマイルグリーンプロジェクトは、対象商品1点の利用につき1円を、WWFジャパンに寄付しています。

植林による森林再生などを支援する活動につながります。

2023年度のご利用は、96,069円の寄付に相当します



CO・OP×レッドカップキャンペーン キャンペーン期間:2023年10月1日~2023年11月10日

レッドカップキャンペーンとは、飢餓に苦しむ子どもたちに、学校給食を届けるための国連WFP協会によるキャンペーンです。『CO・OP×レッドカップキャンペーン』は、キャンペーン対象商品1点の利用につき1円を、国連WFP協会に寄付しています。ミャンマー連邦共和国の子どもたちに学校給食を届けるために使われます。

2023年度は、136,584円の寄付に相当します。



CO・OP コアノンスマイルスクールプロジェクト

キャンペーン期間:2022年11月1日~2023年10月31日

スマイルスクールプロジェクトとは、日本生協連が2010年11月より取り組みをスタートしたキャンペーンです。

「CO・OP コアノンロール」シリーズを1パックご購入いただくことに1円がユニセフを通じてアフリカのアンゴラ共和国に寄付されます。

2023年度のご利用は、351,193円の寄付に相当します。



ピンクリボン運動キャンペーン

コープ化粧品は、乳がんの正しい知識を広める認定NPO法人J.POSH（日本乳がんピンクリボン運動）に、賛同・協賛しています。

『ピンクリボン運動』は、コープ化粧品1点の利用につき1円が、ピンクリボン基金を通じて、J.POSHの活動全般の支援に使われます。

2023年度のご利用は、127,567円の寄付に相当します。



障害者ノルディックスキー応援キャンペーン

対象商品を1点お買い上げいただくごとに1円を、特定非営利活動法人「日本障害者スキー連盟」ノルディックスキーチームに寄付します。次世代を担うジュニアチーム（10代~20代）の合宿・国際大会遠征支援等に使われます。

2023年度のご利用は、25,133円の寄付に相当します。



2 食の安全・安心

お届け商品の安全・安心を守るための5つの確認業務（商品仕様書点検・商品検査・工場点検・組合員お申し出対応、リスク予兆管理）をおこなっています。

商品仕様書点検

取扱商品が、コープ北陸商品取扱自主基準（不使用添加物、アレルギー表記）等に適合しているかをお取引先から提出された商品仕様書（商品の設計書）にて点検しています。点検時に不適合となった場合は、仕様の変更など必要な対応を実施しています。2023年度は、昨年引き続き新たな遺伝子組み換えに関する任意表示制度に対応し、包材の改版時期の確認を順次すすめました。

新商品点検数	3,142 品
リニューアル点検数	2,900 品
定期更新点検数	0 品
詰合せ商品点検数	49 品
その他点検数	49 品
仕様書点検合計数	6,140 品
企画中止品目数	7 品

商品検査

お届け商品に起因する食中毒発生防止を目的に、商品の微生物検査を実施しています。また、理化学検査分野では、残留農薬検査、DNA検査、ヒスタミン検査など石川県立大学の共同研究にてすすめています。その他、放射能検査や産地判別検査なども必要に応じて実施しました。

微生物検査数	6,677 件
残留農薬検査数	109 件
産地判別検査数	16 件
DNA検査数	7 件
放射能検査数	13 件
ヒスタミン検査数	11 件
アレルギー検査数	5 件
栄養成分分析検査受託数	42 件

工場点検

食品製造工場と生協と一緒に協力して製造現場を点検し、課題改善につなげていく生協版の二者監査です。製造工場の衛生状況や記録類の整備状況の確認、商品仕様書どおりに製造されているかなどを生協の基準で点検し、課題を見つけて工場とともに改善する姿勢で臨みます。

専門家工場点検数	13 件
職員工場点検数	5 件
工場点検数合計	18 件

組合員お申し出対応

お申し出情報を一元管理するシステム「クイックプロII」を利用し、会員生協の他、全国の生協でのお申し出の発生状況を監視しています。この他、品質管理強化月間や迎春商品安全確認等で、重大事故防止や品質管理、農産お申し出抑制に向けた取り組みを実施しました。

お申し出件数	4,663 件
重大お申し出件数	0 件
重要改善お申し出件数	0 件
重要対応お申し出件数	0 件

リスク予兆管理

取扱商品で産地偽装、重大なお申し出等の問題が発生しないよう未然防止に取り組んでいます。月次で実施している商品取扱検討会では、産地判別検査や他生協発生のお申し出詳細を確認するなど、企画商品のリスク対応を実施しています。

リスク予兆情報発信数	225 件
リスク予兆点検商品数	57,073 品
企画中止商品数	3 品

3

組合員のくらしに寄り添う

組合員のくらし・家計を応援

さまざまな商品の値上げが続く中、組合員のくらしに必要な商品を少しでも低価格で提供できるようキャンペーンや応援企画に取り組みました。

- 「セレクト 30」
- 「還元感謝祭」
- 「くらし応援全国キャンペーン」
- 「くらし応援」

2023年12月～2024年3月はコープ北陸独自の「くらし応援」に取り組みました。「くらし応援」キャンペーンは、多くの組合員の支持をいただき、計画比119.6%となりました。



組合員の食卓をサポート

「いつでも注文」カタログを発行しました

2023年7月より「いつでも注文カタログ」の発行(月1回)を開始しました。「いつでも注文カタログ」はカタログを1か月間保存していただき、期間中なら毎週注文できます。定期登録番号のついている商品は定期登録もできます。登録すると毎週お届けとなり、注文忘れもありません。

組合員の要望が多かった「減塩・低糖質商品」は品揃えも拡充し「減塩・低糖質商品」の利用は計画の4倍となりました。



商品カタログの紙質を見直し

2023年7月1回より「コープファミリー」「ゆとろぎ+」の用紙を、「新聞更紙」へ変更しました。

「新聞更紙」へ変更した目的

- ① カタログに使用する用紙の価格はこの1～2年で4～5割程度値上がりしました。コープ北陸でも、カタログを発行するための経費が約2億円上昇しました。
- ② この経費増を商品価格に転化させず、経費負担増を抑えるため、カタログの紙質を見直しました。
その結果、北陸3県合計で約1億5,00万円の経費を抑制しました。
- ③ 紙質変更にあたり、印刷工程を見直し、CO2の削減をすすめました。
年間で約125トン削減。



紙質変更に対する、組合員の声

- 暗くて見づらくなった
- 視力が弱い人には見にくくなった
- 美味しそうにみえなくなった



改善しました!!!

2024年2月2回より、見やすさの改善のため、白色度を高めた用紙へ変更をおこないました。

4

宅配注文をより便利に

OCR注文

OCR注文用紙を改善し、より注文しやすく改善しました。

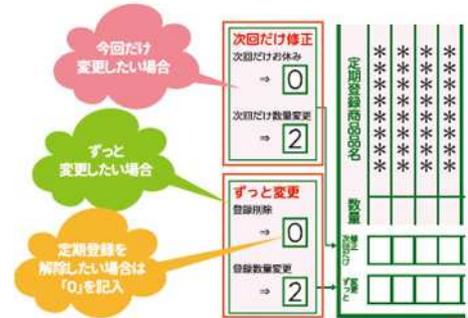
2023年6月より、OCR注文用紙に「あなた専用のおすすめ商品」が表示されるようになりました。



OCR注文用紙の右上に、個人ごとの利状況から好みに合った商品を提案しています。忙しい時、注文忘れを防ぎたい時はこのコーナーをチェックすると、欲しい商品が見つかります。

定期登録商品の登録内容の変更方法を分かりやすくしました。

※ eフレンズでも同様に改善しました。



宅配アプリをより便利に

COOP宅配アプリでは、操作性の改善を実施しました。

組合員の声

- 企画回を選択が分かりづらい。
- 注文画面で数量変更も一緒にできたら便利なのに。

組合員の声

- eフレンズだけの企画が充実したら嬉しいです。



- 2023年10月より改善
表示中の企画回が一目で分かるタブを設置
- 2024年2月より改善
使用ポイント数と注文合計額を並べて表示、実質的な注文額が分かりやすくなります
- 2024年2月より改善
数量変更を簡単にできる欄を設置



2023年5月より、ポップアップ広告を開始しました。アプリを開くと、おすすめ商品や特集商品をポップアップでお知らせします。

2023年10月より、特集コンテンツを開設。紙面ではお伝え出来ない、商品の特徴、価値、魅力を伝えるコーナーを週替わりでご案内しています。

組合員の声

- コールセンターの受付時間に間に合わない。
- 出資金の変更をしたいけど、電話するのは面倒に感じる。
- 企画回を選択が分かりづらい。



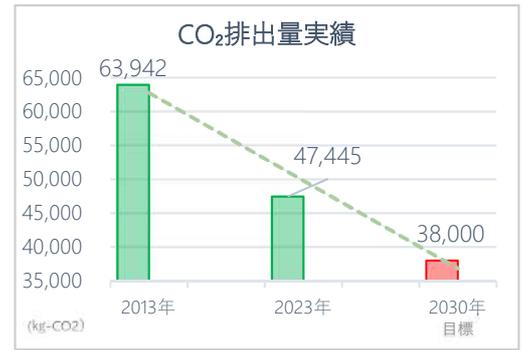
2024年2月より、eフレンズサイトにて住所、電話番号、登録増資額などの変更をいつでも届け出できるページを開設しました。24時間変更が可能となり、大変便利になりました。

5

地球温暖化対策・3Rの推進

温室効果ガスの削減

2020年までの温暖化防止自主行動計画の次期計画として、日本生協連の『生協の2030環境・サステナビリティ政策』の温室効果ガス排出削減目標「2030年までに2013年対比40%の温室効果ガスを削減」を指標にし、取り組みをすすめています。



プラスチック包材削減 (リデュース)

プラスチックトレイの削減

プラスチック包材の環境対応として、リデュース(使用量削減)に取り組んでいます。

2020年5月より『**COOP** ハチバンの焼きぎょうざ』のノートレー化を実施しています。

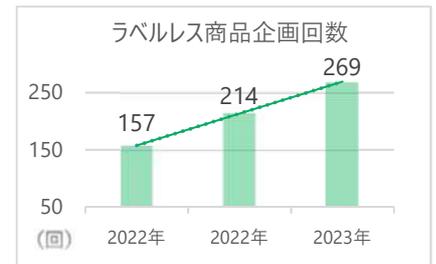
◆トレイ削減枚数と重量

※利用実績より算出

	削減枚数	重量 (t/トン)
2020年	343,782 枚	約 5.81t
2021年	352,660 枚	約 5.96t
2022年	332,760 枚	約 5.62t
2023年	280,472 枚	約 4.74t

ラベルレス商品の取扱い拡大

ラベルレス商品の企画回数は、前年比125.7%。供給高は2億1,745万円(前年比131.0)と伸長しました。2024年度もラベルレス商品の取扱い拡大を推進し、HCOOP商品で包材の軽量化・再生原料への切り替えについて取引先と協議をすすめます。



コープファミリー、OCR 注文用紙の発行停止

- OCR 注文用紙の発行停止割合は 72.1% (計画比 134.5%)
- コープファミリー発行停止率は 35.7% (計画比 102.6) 計画を達成し、良い結果が得られ

食品ロス削減

2017年より子ども食堂への食材提供を行っています。現在は7団体と支援協定を締結しており、2023年度は同一商品を含む8,811品の食材の無償提供をおこないました。2024年度も、地域の子ども食堂やフードバンク、フードパントリーへの無償提供をすすめます。また3Rの取り組みを推進し、食品ロスの削減やリサイクルの推進など会員生協と連携し取り組みを強化していきます。

6

人材育成

階層別教育体系に基づき、学習会や研修、教育を実施しました。
 全職員：メンタルヘルス研修、ハラスメント学習会、情報セキュリティ教育
 総合マネジメント教育(内部統制学習)
 新規出向職員：MD 研修
 (独占禁止法や下請法、景品表示法契約に関する教育)

◆2023年度の資格取得者
 食品表示検定(初級) 2名
 第一種衛生管理士 1名

7

経営管理・機関運営

情報セキュリティ強化を目的に、情報セキュリティ基本方針並びに管理規則・細則を制定し、Web フィルタ(悪意のあるサイトの閲覧制限)、EDR(未知のマルウェアの完治と隔離)、SOCサービス(緊急遮断代行サービス)を導入しました。また、情報セキュリティ教育、標的型攻撃メール訓練を実施したほかサーバーの脆弱性診断を実施しました。

ガバナンスの強化

令和6年能登半島地震および2024年1月の雪害では災害対策本部を立ち上げ、「大規模地震対応版BCPマニュアル」、「雪害対応版BCPマニュアル」に基づき対応にあたりました。

インボイス制度(2023年10月1日)および電子帳簿保存法(2024年1月1日)対応に必要なシステム開発並びに規則の改訂(経理規則)を行いました。

2023年11月に実施された厚生労働省による生協検査において、10点の指摘並びに7点の助言をいただき、それぞれ改善計画を作成しました。

リスクマネジメント	石川県民一斉防災訓練(シェイクアウトいしかわ)にて、訓練開始の合図の後、「身の安全を守る行動」を1分間実践しました。 火災と地震を想定した総合消防訓練と、心肺停止状態での処置(AED実技訓練)を実施しました。
内部統制マネジメント	2023年12月、内部統制基本システム規則に基づき、内部統制モニタリングを実施しました。指摘事項はありませんでした。
環境マネジメント	エシカル消費の推進(利用点数、寄付金額)、食品ロス削減、安全管理、CO2排出量削減の計5項目に取り組み、CO2排出量削減のみ目標未達成となりました。

8

協同の力で

令和6年能登半島地震

2024年1月1日午後4時10分頃、石川県能登地方を震源とするマグニチュード7.6の地震が発生し、奥能登地域を中心に甚大な被害が生じました。

復旧・復興までの間、被災された方々のくらしにしっかりと寄り添い、会員生協や日本生協連をはじめとした他事業連合ならびに全国生協、お取引先と協同し被災者の支援活動および2024年度方針実現に向け取り組みをすすめていきます。



コープ北陸役職員に対しボランティア活動への参加を呼びかけ、能登町を中心にボランティア活動を実施しています。



コープ北陸事業連合は、持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

発行日：2024年6月

発行者：生活協同組合連合会 コープ北陸事業連合 総合企画室

本部：〒921-8005 石川県金沢市間明ホ63番地

TEL：076-269-2323 FAX：076-269-4209

ホームページ <https://www.coop-hokuriku.net/>